

平成 28 年 3 月 31 日

各位

一般社団法人フォレストック協会
理事長 石黒 路明

「未来遺産運動」連携事業の連携解消について

フォレストック認定制度について、平成 24 年 2 月より公益社団法人日本ユネスコ協会連盟（以下「日ユ協連」という。）が主催する「未来遺産運動」の連携事業として協力しその運動の更なる隆盛に向け尽力して参りましたが、平成 28 年 3 月 31 日をもって連携解消の運びとなりましたのでお知らせいたします。

日ユ協連は、国際連合教育科学文化機関憲章（以下、「UNESCO 憲章」という）の理念に則り、日本国内において長い歴史と伝統のもとで豊かに培われてきた地域の文化・自然を 100 年後の子供たちに伝えるための日ユ協連の未来遺産運動を広く周知し、弊協会を含むより多くの団体・個人からの協力を得、日本の文化・伝統、自然の保護保全・継承のための同運動を推進されています。また、弊協会は、日ユ協連の未来遺産運動の趣旨に賛同し、我が国のかけがえのない自然遺産である森林を保全する人たちを支援し、各地域に存在する森林資源およびその森林資源により生み出される公益的機能の更なる発揮と共に、それらを未来へ継承する仕組みの提供に努めております。当該連携は、日ユ協連の未来遺産運動とその理念を共有し、新しい環境と経済の新しい循環を創り上げ、フォレストック認定制度ならびに弊協会の活動の拡大と共にある未来遺産運動へのより多くの賛同者の獲得と支援の拡大を目的としておりました。こうした主旨にご賛同いただき多くの皆様からの賛同と支援を戴いて参りましたこと改めて御礼申し上げます。

この連携解消につきましては、上記の連携における理念や目的を否定するものではありません。日ユ協連において「未来遺産運動」の全体的な見直しの中「連携事業」制度のあり方が再検討され、「未来遺産運動」における「連携事業」制度の廃止が決定されましたことに伴うものです。同連携事業の廃止に関する通知を本年 2 月末に頂戴して以来、日ユ協連及び弊協会は今後の対応に関し様々な他の選択肢も視野に協議してまいりました。しかしながら、現時点においては、今後の協力について未だ具体的な結論がでないまま既存の連携契約終了日である 3 月 31 日を迎えることが確実であることから本日のお知らせに至った次第です。文言・商標等（ロゴ及び定型文の利用を指します）のご活用いただいております皆様に対しては、大変急なお知らせとなり弊協会として大変申し訳なくまた残念な想いで一杯です。

このような背景の結果、平成 28 年 4 月 1 日以降にフォレストック認定制度及び同制度に基づくフォレストック協会の活動は、文言・商標等に関する既存の企業様による下記のご使用の場合を除き、「未来遺産運動」の連携事業ではなくなります。

平成 28 年 3 月 31 日時点にて「未来遺産運動」の文言・商標等を使用しご賛同ご支援いただいている企業様等におかれましては、平成 28 年 3 月 31 日までの CO2 吸収量クレジットのご購入に関連するご利用に関し、文言・商標等を使用された印刷物や商品等に記載いただいております通り、その在庫がなくなるまでの期間現状通り連携事業を通じた未来遺産運動の賛同者としてご利用いただけます。但し、4 月 1 日以降における新たに作成される印刷物や商品等におきましては文言・商標等が使用できなくなります。

また、HP 等における日ユ協連に関する電子媒体における文言・商標等の使用におかれましては、6 ヶ月の猶予期間を設けさせていただくことで日ユ協連と合意しております。本年 9 月 30 日をもってそれら使用を中止いただけますようお願い申し上げます。当該猶予期間においても、引き続きフォレストック認定の連携事業である未来遺産運動の賛同者としてお示しいただくことに問題なくこれまで通り有効です。また、前段の通り、既に在庫として保有されておられる印刷物や商品等の在庫がなくなるまでの期間について、未来遺産運動の賛同者である旨の記載は有効ですので、HP 等の記載におかれましても此の点についてご注意ください。さらに、フォレストック認定制度及び弊協会の活動が未来遺産運動の連携事業であったという事実は今回の連携取消により影響をうけません。HP 等を含めすべての表記に関し、過去の実績としてお示しいただくことについて何ら制限がないことも申し添えさせていただきます。

今回の連携取消に関するお知らせが上記の事情とはいえ、突然のこととなり大変申し訳ありません。弊協会としましても日ユ協連の「未来遺産運動」等との新たな取組みが計られた場合は速やかにお伝えする所存でありますので、ご理解・ご協力よろしく願いいたします。

以上